



ロシア：「対極」の世界から (5) ～ ロシア人とお酒 ～

ロシア連邦・サンクトペテルスブルグ国立大学留学中
服部 祐也

「ロシアといえばウォッカ」という連想に同意される方も多いのではないのでしょうか。実際はどうでしょうか。今回は、ロシア人と酒にまつわる事についてご紹介させていただきます。

先日、ロシア人ビジネスマンと一対一でウォッカを飲み交わす機会がありました。彼は「このウォッカは品質が良いから、体にいいんだ」と言い続け、あっという間にウォッカ6杯を平然と飲み干しました。ロシアでは、ウォッカはショットグラス（0.05ml程度）に注ぎ、一杯一杯「～の為に」と言いながら乾杯し、一気に飲み干す事が一般的です。それに付き合った私が必死だった事は、言うまでもありません。翌日早朝に出張を控えていた私を氣遣って彼の奥さんが止めに入ってくれたから良かったものの、あのまま続いていたらと思うとゾッとします。

多くの人が持つ様に、私も渡航以前からロシアといえば「お酒をたくさん飲む」というイメージがありました。それはある程度事実で、上記の様な例の他にも、昼間から瓶ビール片手に街を歩いている男女や道端で残っているビールを求めゴミ捨て場を漁っているアルコール中毒者を時々見かけます。また、シベリア等寒さの厳しい場所では酒を非常に多く飲むという話もよく聞きます。

では、実際ロシア人はどの程度お酒を飲むのでしょうか。

最近の週刊紙に興味深いデータが示されていたので、以下にご紹介します。

国名	酒量(*)
ロシア	18.0
アイルランド	13.5
フランス	13.0
チェコ	12.0
イギリス	11.3
フィンランド	10.0
アメリカ	8.4
イタリア	8.1
日本	7.7
トルコ	1.3

(ロシア保健・社会開発省発表のデータに基づく)

* 一人の年間消費量を純アルコール換算したもの。単位はリットル。同紙の国別比較に順位の記述はなかった為、以下表の国々が世界の飲酒量上位を占めている訳ではない。

"Аргументы и факты - Петербург" (No19, 2010)

ア) ロシア人の飲酒量

WHO（世界保健機関）では一人当たりの年間飲酒量純アルコール換算が8リットルを越えると健康に害が及ぶとしていますが、ロシアのそれは18リットル。基準の2倍以上の摂取量です。このロシア人の飲酒量をウォッカ（アルコール度数40度）換算をすると、年間一人45リットル、つまりショットグラス900杯（約2.5杯/日）消費する事になります。（ただし、ロシアでは最近ビールが愛飲されており、彼らは必ずしもウォッカだけを飲んでいる訳ではありません。）平均値でこれだけ量



スーパーの酒コーナーにずらりと並ぶウォッカの数々。
その種類・数の多さには驚かされる。